

事業提案書

提案グループD（三島町、金山町、南会津町、福島県）

1. 事業名	Dグループテーマ「地域との協働による持続可能な交通体系の実現」 事業名：三島町運営有償運送
2. 提案目的	有償運送の運営費用の軽減と、持続可能でより利便性の高い交通体系の提案
3. 概要	<p>【現状・課題】</p> <p>奥会津地域は、全域が過疎地域に指定されており、人口減少、高齢化、脆弱な財政力といった課題を抱えている。公共交通は住民の生活を支えるために必要なものであるが、これらの課題から維持が困難となる可能性がある。</p> <p>特に、人口減少が著しい三島町では、タクシー事業者やバス事業者による運行が無く、自家用有償旅客運送の制度を活用し、低廉な運賃で町内定期バス・デマンドバスの運行を行っているが、毎年およそ2,000万円の歳出超過となっており、事業の持続性が危惧されている。</p> <p>【方向性】</p> <p>課題を解決するために、需要の創出・新たな利用者の獲得、住民が自らドライバーとなることで人材を確保し、将来的に補助金に頼らずに自走できる交通体系の構築することを目指す。</p> <p>○地域資源を生かした新たな需要を創出し、利用料収入の増加、魅力拡大による地域の活性化を図る。</p> <p>○デマンド部分を住民主体の運行形態に切り替え、運行経費を削減する。 (通勤、通学、JR接続の定期バスは継続する)</p> <p>【実施概要】</p> <p><u>1 ニーズに基づくお出かけ運行</u></p> <p>概要：現行の定期バス・デマンドバス路線を活用し、全路線の終着点である「会津宮下駅」周辺にて、マルシェ、健康イベント等を定期開催し、乗車率の向上と地域の賑わいを創出する。</p> <p><u>2 集落支援員制度の活用</u></p> <p>概要：公共交通業務を行政から委嘱し、地域課題の把握と、運行システムデジタル化実現のための運用を検討する。また、自らがドライバーとなることで、現場目線での課題・改善点を把握する。</p> <p><u>3 運行システムのデジタル化</u></p> <p>概要：電子配車アプリを導入し、利用者とドライバーが直接予約・配車ができる仕組みを構築し、利便性の向上と経費削減を図る。</p> <p>以上3点の取組により、約9,000千円（現行デマンドバスの運行経費）の費用削減が見込まれ、さらに、住民の利便性向上と地域の活性化が期待できる。</p>

4. 実施主体	<p><u>1 ニーズに基づくお出かけ運行</u> 行政（町民課：福祉部門、地域政策課：地域活性化部門）、地元NPO、観光団体等</p> <p><u>2 集落支援員制度の活用</u> 行政、集落支援員</p> <p><u>3 運行システムのデジタル化</u> 行政、集落支援員、住民</p>
5. 実施期間、スケジュール	<p><u>1 ニーズに基づくお出かけ運行</u> 初年度…健康サロン等でのニーズ調査 2年度…運行開始 3年度…課題を踏まえた運行改善 4年度…運行継続</p> <p><u>2 集落支援員制度の活用</u> 初年度…受入体制検討、支援員募集 2年度…支援員採用、地域との関係構築 3年度…地域での話し合い、課題抽出 4年度…運行開始、評価・検証</p> <p><u>3 運行システムのデジタル化</u> 初年度…デジタル化、計画策定 2年目…オペレーション、体制の構築 3年度…アプリ導入、実証実験 4年度…運用開始、評価・検証</p>
6. 予算概要	<p>1 事業課の予算規模による。</p> <p>2 支援員に対する財政措置 一人あたり350万円（兼任の場合一人あたり40万円）</p> <p>3 地域公共交通会議にて協議 運賃は区域運行の場合、概ねタクシー料金の半分以下 必要経費（想定）：運行システム利用料（運賃収入の一定比率）、団体保険料（対人・対物）等</p>
7. 参考事例 （ある場合のみ記入）	<p>三島町営有償運送 NPO法人気張る！ふるさと丹後町（京都府京丹後市）</p>
8. その他	